

Radio On The Street  
西谷文和



発行責任者：西谷文和  
連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33  
TEL 06-6170-4757  
メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送  
しています。今後も年に4回程度発行します。

●ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索して  
ください。YouTubeで聞けます。  
チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせ  
が来るので便利です。

2024.3.30  
第20号



思いつき政治で現場は大混乱

このまま強行すれば「大阪アホ万博」！  
中止してヒトモノカネを能登復興へ

万博でしか食べられない？

2月末のYOUTUBEに「く  
るぞ！大阪・関西万博チャンネ  
ル」がアップされていた。万博の  
機運醸成のための宣伝番組で、お  
そらく制作費は税金だ。番組はジ

ヤーナリストの須田慎一郎がMC  
で松井一郎、横山英幸の新旧大阪  
市長がバスに乗り込んで、語り合  
うという企画だった。何を言うの  
かな？と思つて見ていたら、横  
山「万博では世界のレストランが  
出て、その国に行かないと食べら  
れないものが食べられる」。ちょ  
つと待て！大阪難波に限つても  
インド、イタリア、トルコ料理な  
ど山ほどあるぞ！わざわざ夢洲  
まで行つて、高い入場料を支払つ  
て、インドカレーを食べて参加者  
は喜ぶのか？

「思いつき」で右往左往する  
現場

松井、横山の雑談が続く。松井  
「だいたい思いつきでしゃべつて  
たからね」。その通り、「医療現場  
に雨合羽をください」は有名で、  
今でも「雨ガッパ松井」と呼ばれ  
ている、この愚策によって、大阪  
市役所に山ほど雨ガッパが集まっ

た。しかし雨ガッパは医療現場の  
防護服にはならないので、一期期  
市役所ホールに積み上げてあつた  
「火事になったら、燃え広がつて  
しまう」という指摘が入つて、雨  
ガッパは市役所倉庫に隠された。  
私は大阪市内の小・中学校で平和  
講演をするのだが、その待機中に  
「おたくの中学校、雨ガッパいり  
ませんか？、と市役所から電話か  
かつてきますねん。要らん、言う  
て断りましたけど」と校長先生。

世界初のペット同伴？

宣伝動画では松井、横山、須田  
の雑談が続く。松井「世界初のペ  
ット同伴万博や」横山「猫好きの  
松井さんに命令されて、裏話やけ  
ど、どんなペットが可能か万博協  
会で議論した。猫は逃げるから基  
本は犬やな、と」。アホである。  
高い報酬（税金だ！）もらつてる  
理事たちが「猫は逃げますなー」  
「ワニはかみまますからなー」「カメ

は…」と、議論して「ペットは犬に限る。逃げないようにバギーで動物アレルギー対策をする」と決定。そんなアホ万博、先日も「リングを完成させたら、中のパビリオンが作れない」ことが判明。ネットでは「命がけのコントやな」と炎上している。

### 中止一択！大阪万博

そんな万博のトイレが1つ2億円。「決して高いとは思わない。だって便器が50個もある」と自見大臣。便器1つで400万円やないかい！とツツコミが入っている。能登の被災地では仮設トイレも仮設住宅も足らない。リングを構成する木材だけで、4千戸の仮設住宅が建築可能。もう笑ってる場合ではなく、怒って万博中止に立ち上がるべきだ。BIE（博覧会国際事務局総会）の規定では、開催国が中止を申し出て3分の2以上の賛成があれば中止可能。4月12日までなら約340億円の違約金で済むが、13日以降は約840億円に跳ね上がる。中止するなら今だ。ラジオでも引き続き追求する。（文中敬称略）

# 小出先生に聞く その14 福島事故の教訓 志賀原発の教訓

## 能登地震は原爆230発分

— 今回のテーマは「シカとスズ。3・11の教訓は全体に原発を動かすな」です。小出さんは能登半島地震直後に小論文を発表されています。まず、地震と原爆のエネルギーを対比しておられますね。

小出 はい、例えばM6規模の地震が地下で起きた時に、放出されるエネルギーがちょうど広島型原発1発分です。

— 今回の能登半島地震はどれくらい？

小出 地震の規模がM7.6と発表されているので、広島型原爆に換算すると、約230発分に相当します。

— ものすごいエネルギーですね、地震って。

小出 人間の力など及びもつかないほどの莫大なエネルギーを放出します。

— やはり自然をなめたらあかんですね。

小出 人間は自分では偉いと思っ

ていても、自然からみれば本当にチヤチヤ存在だということをちゃんと知らなければいけないと思います。

— もう13年経ちましたが、3・11の地震は？

小出 M9の巨大地震で、広島型原爆で換算すると3万発分です。

— 3万発！地球の力って巨大ですね。そんな自然に逆らって原子力発電所を造ってしまったわけですが、「死の灰」で比べてもとんでもない事態になってますね。標準的な原発が1年稼働すると、「死の灰」はどれくらい排出されますか？

小出 今日で標準的な原発は約100万キロワットですから、1機1年動かした時に広島型原爆1千発分の核分裂生成物、いわゆる「死の灰」を生み出してしまいます。

## 「死の灰」は原爆1千発分

— 1千発分も！「はだしのゲン」にもありましたね、被爆者は髪の毛が抜ける、白血病になるなどの被害が。その1千倍って…。

小出 原爆の被害は、その瞬間に

放出される中性子線とガンマ線による被害が大部分で、たくさんの広島、長崎の方々が被爆されました。その後に「黒い雨」が降って、放射能でさらに被曝するということになったのです。今、私が述べたのは「死の灰」の量、です。単純には比較できませんが、生み出す量としては1千発分です。

— 危険なものをどんどん生み出していることには違いありません。それで13年前の福島原発事故は、動いていたから崩壊熱でメルトダウンしたわけですね？

小出 福島第一原発1号機は、46万kWで標準からすれば小さいのですが、地震直後に制御棒を入れて核分裂反応は止めたのです。しかし原子炉の中に溜まっている放射能が膨大な量で、これが放出する熱（＝崩壊熱）は約10万kWでした。

— 地震の初動。

小出 翌日は10分の1に減って来てまして1万kWに。

— わずか1日でかなり減るけれど、



100分の1に減るのは1年後?

小出 はい。出てくる核分裂生成物(死の灰)には寿命の長いものもあれば短いものもあるのです。運転停止直後は、短いものが急速に減ってくれるのですが、その後は寿命の長いものが残ってしまうのです。

**10年でやっと千分の1に**

— それで、セシウムとかストロンチウムが問題になったのですかね?で、ようやく10年経って1000分の1になると。

小出 もう少し少ないくらいまで。— 今年で13年ですが、ようやく千分の1以下に。あのととき4号機は停止中だったので、使用済み核燃料プールの水が蒸発して、あわやという事態になりましたね?

小出 4号機は前年の11月に運転を停止させて定期検査に入っていたのですが、3・11の時点でまだ3カ月半でした。つまり崩壊熱がかなり残っていたので、使用済み燃料プールの水が沸騰してどんどん水位が下がっていくという大変な事態になりました。

— プールは格納容器の外にありません。もし完全に水が蒸発して燃料棒がむき出しになっていたら、ものすごく

い量の「死の灰」が出ていたのでは?

小出 そうです。4号機の燃料棒が溶けてしまえば大変な量の放射能がばらまかれるという事態に。当時の原子力安全委員会の近藤駿介委員長が「そうなれば東京ですら人が住めなくなる」という報告を出しました。

— 不幸中の幸い、幸運が偶然に重なってなんとか水が保たれたようですからね。

小出 はい、幸運が重なって、あわやもうダメかと思う時もありましたが、辛うじて助かったのです。

**志賀原発の外部電源は?**

— 紙一重で東日本が助かった。それで能登の志賀原発です。今回もかなり危なくて、外部電源の3系統5回線はどうなっていましたか?

小出 一番重要な50万ボルトの送電線があったのですが、これを受けるための変圧器が油漏れを起こしてしまつて動かない。つまり外部電源を受け取れないという事態になっていたので。

— もし志賀原発が動いていたら?

小出 通常の原発は自分が動いて電気を起こしているのですが、事故があつたら止めるわけで、自力では電気を作れなくなります。こ

うなれば外部から電気をもらわないとメルトダウンの危機です。変圧器が故障して受け取れないという事態は大変深刻なことです。福島は送電線の鉄塔がひっくり返つて外部電源が受け取れなかった。最後の命綱だった非常用電源も津波でやられてしまった。

— 東電は非常用電源を地下に置いていた。これ犯罪的ですよ。

小出 もつと高いところに移しておけば、防げた事故です。

**数字がコロコロ変化する**

— 油漏れも、当初3500リットルと発表されていたのが、後から2万リットルに。なぜ数字がこれほど変わるのですか?

小出 事故の混乱もあつたのかも知れませんが、原子力発電をずっと見てきて、常に彼らはウソをつくし、事態を小さく、小さく見せたいがるのです。今回も「大したことはないんだ」と、強調したかったのでしょう。

— でも数字でウソついたらダメですよ(苦笑)

小出 もちろんダメです(苦笑)。

— その油も当初は「回収した」と言っていましたね。

小出 最初は「全量回収」。でも

海に流れ出て油膜になっていることがバレてしまった。ここでも事故を小さく見せたい、という心理が働いていたと思います。

— モニタリングポスト116か所中18カ所が動いてなかった?これ、モニターの意味ありませんね。

小出 はい。モニタリングポストは事故の時に、どれくらいの放射能がどちらに流れているか、を知るための命綱なのです。それが動かないということでは、住民がどつちに逃げていいのかわからない判断自身ができません。今回は辛うじて大量の放射能が漏れるという事故にはならなかったので、何とかになりましたが、もし大事故の時に動かなければ致命的です。

**犯罪レベルの「情報隠蔽」**

— 福島の時も浪江町の人が風下に逃げてしまいました。

小出 あの時とはモニタリングポストもたくさん壊れたのですが、何よりも政府が「放射能がどちらに流れているか、どれくらい被曝するか」を計算していたスピーディーのデータを隠してしまつた。

— あきませんなー。

小出 どうしようもない国です。(続く)

### 編集長より

地球上では紛争が絶えず、国内では民主主義何たるかも理解に乏しい政治家たちが、利権と保身に躍りになっていきます。そんな中、第171回ゲストの川中だいじさん(中学1年生)との対談には、唸りました。本当にしっかり勉強なさっていて、ゆるぎない自身の意見をはきはきと答える姿は、さすががしくもありました。この国の未来はまだ捨てたものではないと少しだけ思えた瞬間でした。

私たちは今を憂いますが、社会を良くしていくには、傷を繕っていくことも大切ですが、次の世代を丁寧に育てる中で生まれ変わっていくことが、特効薬ではないかと思えます。その意味では、教育は何よりも重要な課題と言えます。第170回のダニー・ネフセタイさんとの対談では、イスラ

エルでは子どもの頃から空軍のパイロットになることが何よりの名誉だと信じて疑わなかったとおっしゃっていました。どんなことに生きる意味(哲学)を見いだすのかは、親や教師など大人の思想と触れ合うことで形成されていくものですから、我々大人は、今の幸せではなく未来の幸せに焦点を定めながら、子どもと接する必要があります。私的人格を形づくっているものとして例えば何だろうと考えてみました。思い当たる事が、

ふたつあります。ひとつは、小学校5年生のときの担任の先生で、いつも教室にギターを置いていて、折に触れて私たちに歌を教えてくださいました。私がフォークソング好きになったのもそのせいだと思います。中でも「青い空

は」は、今でもそらで歌えるほど、印象に残っています。「青い空は青いままで 子どもに伝えたい燃える 八月の朝影まで燃えつきた」あの儂く美しいメロディが幼い心に鮮烈に焼き付いたのでした。先生は歌の意味など一切解説しませんでしたから、歌い込まれた凄惨な風景と決意をリアルに知るのは、もう少し大人になってからでした。

そしてもうひとつは、亡母の言葉です。私は扁桃腺が弱く、特に子どもの頃は、よく高熱を出して寝込みました。両親は共働きでしたから、熱のある子を置いて仕事に行かねばならないこともあったのですが、そんな折だったと思います。「丈夫に産んであげられなくてごめんね。」と。いつも身体が弱く親に迷惑ばかりかけている

と思っていましたから、泣けてきたのを覚えていました。

子どものやわらかな心に、社会の大海原に漕ぎ出すための確かな力とバランス感覚をもたらすのは、大人の言葉だと思っております。正確なひとつの解を求めるスキルより、いくつもある解を引き受けられることができるやさしさを、言葉で伝えることができるなら、きっとこの先の世は、少しだけましになっていくように思います。第171回の川中だいじさんが番組でおっしゃっていました。「AかBかCを多数決で選ぶのではなく、それを話し合ってDを導くことが民主主義」なんだと。本当にそのとおりですね!

(ディレクター・山本素)

### 2023年収入の部 (単位:円)

前年度からの繰り越し	1,341,526
募金	5,813,661
合計	7,155,187

### 2023年支出の部

HP制作・管理	224,400
事務所家賃	360,000
番組制作費	5,572,602
合計	6,157,002

来年度へ繰り越し 998,185

毎週発信継続中! 引き続きのご支援をよろしくお願ひします

2019年にスタートした路上のラジオ、当初は隔週の放送でしたが、維新が強行する万博&カジノ、ウクライナ戦争、イスラエルによるガザへの大虐殺、自民党の裏金疑獄、能登地震と志賀原発などなど、取り上げねばならないテーマが次々と発生し、23年度から少々無理をして毎週発信に挑戦しております。

ラジオを始めた頃にはあまり話題にならなかつた万博が、今や「アホ

万博」として大手メディアも批判的に取り上げざるを得なくなっています。この番組を継続できているのも、みなさまからの温かい募金のおかげです。改めて感謝申し上げます。円安と10%の消費税によって未曾有の物価高、そして賃金が上がらず不況が続く中で大変心苦しいのですが、経費を切り詰めつつ、さらに頑張つて放送を継続します。引き続きのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

### 編集後記

イスラエルに行ってきます。メディアではあまり報じられていませんが、現地にはユダヤとアラブの平和と和解を求める人々が、多数おられます。日本でいえば9条の会のような団体を訪問し、取材しようと考えています。報告会のお知らせは次号で。